



SS 課題研究発表会（理数科 3 年生）

7月25日（木）にSS課題研究発表会を開催しました。発表者の理数科3年生のほか、係員として理数科2年生、聴衆として1年生全員が参加しました。

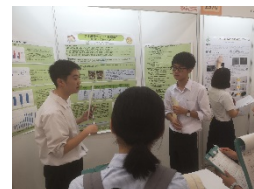
午前中は8階の大ホールで口頭発表があり、はじめに理数科シンガポール海外研修報告を行った後、10グループの研究発表が行われました。昔話「おむすびころりん」の“おむすびの転がり方”や“おいしいさんが本当に追いつけないのか”などについて追究したり、Excel を使って交通渋滞の解析をしたりするなど、幅広い中にユニークな研究がたくさん見られ、質疑応答も活発に行われました。1年生にとっては少々難しい内容もありましたが、熱心に耳を傾け、質問をする生徒もいました。午後は、会場を5階のイベントスペースに移し、各グループによるポスター発表が行われました。会場のあちこちに人だかりができ、発表者は熱心に説明していました。参加したALTからの英語での質問に対して、一生懸命に英語で答える姿も見られました。



SSH生徒研究発表会

夏休み中の8月7日（水）～8日（木）に、神戸国際展示場においてSSH生徒研究発表会が開催され、本校の理数科3年生の生徒4名が参加してきました。7日の午前中は、京都薬科大学名誉教授 桜井弘先生による講演『周期表誕生150年 メンデレーエフの努力と天才』がありました。

この発表会は日本全国のみならず、海外の高校生も招聘される発表会であり、今までの発表会とは違った考え方を知ることができ、大変有意義な2日間であり、参加した生徒たちはとても刺激を受けたと思います。



<その他の行事の様子>



▲サイエンスラボ（理数科2年生）



▲医療現場体験実習（希望者）



▲最先端科学講演会（1年生）
（本田技術研究所 横山利夫先生）